

住領域における授業改善の取り組み

迫垣内 裕*

1 はじめに

筆者の所属する生活学科ハウス&インテリアデザインコースでは、コンピュータを活用した授業や、視聴覚教材の制作などに取り組んできた。その教育効果の一部については、既に岩村穂波教授によって報告されている¹⁾。当該コースの住領域を担当する筆者は、講義室兼演習室である製図室を利用して、1999年度学内LANの接続、2001年度末の液晶プロジェクターの導入を契機に、パワーポイントを利用した教材制作や液晶プロジェクターを利用した授業関連ホームページの閲覧など、これらを活用した授業内容及び方法の改善を試行してきた。

本年度は、授業科目「住生活論」(必修)と住生活研究室ホームページの立ち上げを授業改善の主な目標に設定した。住生活論は、入学生が初めて触れる住領域の授業であり、1年次前期の必修科目という位置づけから、全員が履修し、関心度の異なる多様な学生が存在することから、授業内容の工夫が最も求められる科目といえよう。アンケート自体については、入学したばかりであって、学生の回答能力に問題はないか、果たして検証可能な結果が引き出せるかという危惧もあったが、教員との授業を通しての関係もまだ薄い時期であり、かえって授業内容に対する学生の冷静な判断や意見、感想が期待できるとも考え、試行的に実施した。

また、ホームページ制作は、制作自体への個人的興味もあったが、住領域に対する学生の関心を深めるには、担当授業の改善だけでは限界があり、別のアプローチによる教員側からの積極的な情報発信が必要なのではないかという意図があった。

何れも授業の効果を検証するため、対象学生に対してアンケート調査を実施した。本稿は、筆者が取

り組んだ授業改善の内容と、その効果についての事例報告である。

なお、本稿で採り上げる授業改善の具体例は、最新の設備を導入したり、授業への先進的な工夫を試行しようとしたものではない。既存の設備や教材を利用した中での可能な範囲の改善の試みであることを付記しておく。また、授業改善の取り組みは不断に進行させる必要があり、特にホームページは学生の意見を参考に更新したり、新たな情報を付加したりしているところである。そのため本稿は、一つのまとまった成果の報告というよりも、改善過程の記録すなわち経過報告という意味合いが強いことも付記しておきたい。

2 住生活論の授業改善

2-1 授業内容及び改善点

授業は岩村穂波教授との分担で、1~4回(迫垣内)、5・6回(共同)、7~10回(岩村)、11~15回(迫垣内)の内、本稿で対象とするのは筆者が担当する最初の1~4回の授業である。前記のように住領域に興味関心を抱かせるにはどのような内容・手法を用いればよいのか、極言すれば当該授業の成否が、学生たちの今後のこの領域に対する関心の度合を決定づけるといってもよいであろう。そこで最初の4回の授業終了後、授業改善の効果を検証するためのアンケート調査を実施した。

授業の内容、進め方については、昨年度3・4回に設定していた統計資料の数値を読みとることによって日本の住居水準を探るという内容が、住まいを考える取りかかりとしてはやや難しいと感じられたので、学生の興味が増すことを願って、この部分を全面的に改めた。改訂した箇所を含めた全4回の授

*生活学科

表1 授業(1~4回)の内容

回数	項目	内容	目標	配布教材(プリント)	視聴覚教材*
1回	・住生活論を学ぶにあたって	・授業で学ぶ内容の概説, 住生活研究室ホームページの紹介	・学ぶ内容を知り授業への興味を抱かせる	・PPT教材をプリントしたもの	・住生活論を学ぶにあたって(PPT)
	・畳について	・畳の寸法・敷き方について質問→提出	・身近な素材について意識させる。		
2回	・畳について	・畳の寸法・敷き方について解説	・大きさの種類, 敷き方の約束や意味について知り, 住まいの認識を深める手がかりにする	・畳の豆知識	・畳の大きさと敷き方(OHP)
	・欧米の住まいの実例	・欧米の住まいの実例を写真や図面を使用して解説	・様々な間取りやデザイン住宅があることを知り, 身近な住まいに関心をもつ手がかりとする	・紹介する住宅例の解説資料	
3回	住まいについて考える	・日本の住まい	・身の回りにどんな住まいがあるのかを認識させる	・住まいについて考える(表2)	・様々な住まい(PPT)
		・現代の日本の住まい	・紹介した各住まいの違いを解説(公空間と私空間をポイントに)し, 現代日本の住まいの特徴を解説	・視点を絞って見ることで, 各住まいの特徴を浮き出させ, 現代の住まいの特徴を把握させ, 住まいについて考えるとはどういうことかを知る	・住まいの比較表A ・様々な住まい(PPT)(続き)
4回	・欧米の住まいと日本の住まい	・現代における日本の住まいと欧米の住まいの違いを解説(家の入口, 間取りをポイントに)	・上記と同様に視点を絞り, 欧米と日本の住まいの違いを明確にさせる	・欧米の住まいの一例(間取り例) ・住まいの比較表B	・欧米の住まい(PPT)

*PPT: パワーポイントスライド教材 S: スライド教材 OHP: OHP教材

業内容は表1のようである。

新しい内容は、「住まいについて考える」と題して, 身近な私たちの現代の住まいを出発点に, 日本の江戸時代から近現代の住まいとの比較, さらには欧米先進国の住まいと日本の住まいとの比較を通して, 現代の住まいを考えよう, というものである²⁾。特に, 学生の誰もが知っていると思われる有名な「サザエさん」「夏目漱石」を, 日本の近現代の住まいの実例として採り上げることにした。

準備した資料は, パワーポイントによるスライド資料(40枚)(図1)の他に, 配布用として授業内容の概要と進行を記した表(1枚)(表2), 住まいの比較表A(昔の住まいと現代の住まいの違いは?), 同B(欧米の住まいと日本の住まいの違いは?)(各1枚), スライドの一部を縮小印刷した資料(2枚)である。スライド資料は理解を深めるために住宅事例を見る際に着目すべきポイントを示し, 住まいの比較表A・Bは表に適宜空欄を設けてノートとして利用できるようにした。授業内容の概要と進行を記した表を配布したのは, 2週に渡る内容の進行位置を示すためである。

2-2 授業に寄せられた感想から

授業では意見や感想が記入可能な出席カードを毎回配布している。記入事項の内, 「欧米の住まいの実例(第2回)」については, 様々なデザインや間取りの住

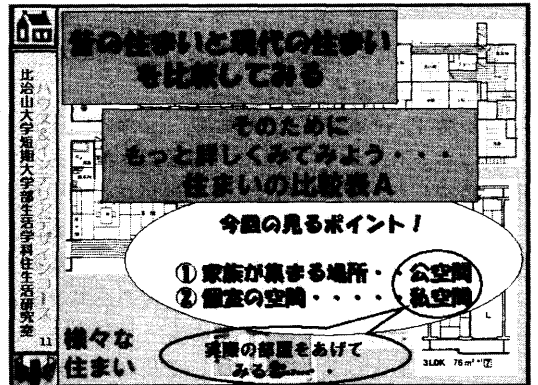


図1 住まいについて考える(現代の日本の住まい)

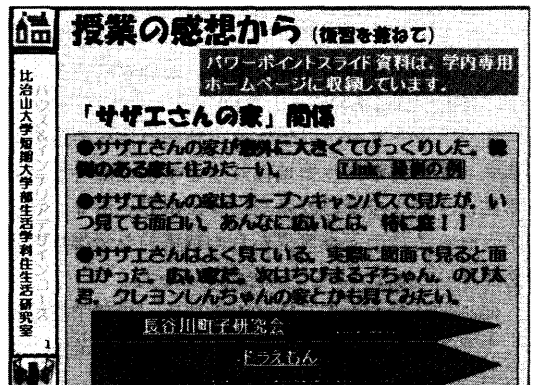


図2 授業の感想から(トップページ)

表2 住まいについて考える（3回～4回）配布資料（一部）
「住まいについて考える」

生活学科：迫垣内 裕（2003）

様々な生活機器が整って快適な生活を送ることが可能な現代の住まい、それに対して昔の住まいはどんなものだったのでしょうか。 現代と昔の住まいや、欧米と日本の住まいを比較することによって、私たちの住まいのことを一緒に考えてみましょう。					
項目	小項目	内容	配布資料 (プリント)	スライドなどの資料 (PPT:パワーポイント資料)	用語
●日本の住まい	・様々な住まい	・私たちがどんな住まいに住んできたか、昔の住まいから現代までの6軒の家を素材にして、そのあらましを知ろう…(間取り・住み方など)	①様々な住まい	PPT:様々な住まい	戸建て・マンション・農家・町家・OLDK
●現代の日本の住まい	・昔の住まいと現代の住まいの違いは?	・昔の住まいと比べて現代の住まいはどこか違っているだろうか 2点に注意して再度6軒の家を見てみると… 1 家族の集まる場所がどこにあるか 2 個室はあるか →家族用の空間が良い場所に十分に	②様々な住まい ③住まいの比較表A	PPT:様々な住まい(続き) サザエさんの家の3D	公空間・私空間 イロリ・かまど・床の間
●欧米の住まいと日本の住まい	・欧米の住まいと日本の住まいの違いは?	・住まいの欧米化が進む日本の住まいだが、それでも欧米と違うのはどんな点だろうか? 2点に注意して再度6軒の家を見てみると… 1 家への入り口 2 間取り →日本では、玄関→廊下→各室へ土足の生活と素足の生活の違い →欧米は個人重視の考え方が強いといわれているが、公空間と私空間がうまく繋がっている 「これからの日本の住まいは?」	④欧米の住まいの一例 ⑤住まいの比較表B	PPT:欧米の住まい	ファミリールーム・スツク 内開き

まいが存在すること、个性的であることなど、見た驚きが率直に述べられているものが多かった(資料1)。これは住まいへの認識に対して何らかのショックを与えたいと当方の意図もあって、ユニークなデザインの実例を意識的に選択して見せたことが影響していると思われる。また、「住まいについて考える(第3回)」では、サザエさんの家への印象を記入したものが最も多く、それ以外に昔と今の住まいの違い、公空間と私空間、住まいの欧米化についての感想が寄せられた(資料2)。中には示唆に富み、学生の参考になるとと思われるものもあったので、急遽、図2のようなスライド資料と配布プリントにまとめ、第4回の授業で教材として利用し、前回の授業内容の復習とした。

2-3 アンケートの結果より

アンケートは4回分の授業が終了した時点またはその翌週に実施した。アンケート質問内容及び回答集計結果は資料3に示す。

(1) 第1回

パワーポイントを使ったスライドのわかりやすさ、授業内容の理解度、説明のわかりやすさに対して、肯定的回答(「強くそう思う」「そう思う」)の回答を併せて肯定的回答と表記する。同様に

「あまり思わない」「まったく思わない」を否定的回答と表記する。以下同じ。)が各々72%、65%、68%と、ほぼ2/3以上あり、当初の目的は達成できたように思う。しかし、授業内容の理解度で否定的回答が10%あったのは、1回目の授業であって内容的にも難しいものではなく、学生の授業態度等に問題があったわけでもないもので、理解し難い面がある。

(2) 第2回

畳についての知識の深まり、住まいの実例を見た後の住まいへの考え方の変化についての質問に対しては、肯定的回答が70%、42%であった。後者は肯定的回答より「どちらとも」が54%と最も多かった。自由記述は肯定的回答または否定的回答の場合に記入を求めたため、何故この回答が多かったのかは不明である。

(3) 第3回・第4回

パワーポイントを使ったスライドのわかりやすさ、授業内容の理解度、説明のわかりやすさに対して、肯定的回答は各々72%、62%、66%であった。次の配布資料のわかりやすさに対する質問は、肯定的回答が57%、「どちらとも」が37%で、他の質問より肯定的回答が少なかった。まとめて2回分の資料を配布したこと、スライドの説明に時間がかか

ったため、結果として配布資料の説明が不十分に終わってしまったことなどが理由として考えられる。

一方、学生の授業への感想を教材として使用した質問に対しては、72%という高率の肯定的回答が得られた。今回は学生から寄せられた授業の感想を次回で復習用教材に利用したという程度のものであるが、学生自らが授業に関わるといういわゆる学生参画型プログラムの有用性を示していると思われる、今後様々な工夫を検討していく必要性を感じる。

(4) 少数意見や否定的回答について

授業内容の理解度では、特定クラスにおいて否定的回答が目立っていた。また、住宅の実例スライドを見た後の考え方の変化を問うた質問に対して、教員の声が聞きづらかったという記述があった。これについては、例えば私語に対する注意をまったくする必要がないクラスもあれば、注意をしたクラスもあり、クラス単位の雰囲気の違いが理解度の差に反映していると思われる。授業担当者としての反省点でもある。しかしながら、スライドなどを見る場合は、その場で率直に学生が感想を声に出し、それに教員が回答するという対応も重要であり、ある程度ぞわついた雰囲気は致し方ない面もあると思われる。また、自由記述として、スライドの文字の小ささに対する指摘や、スライド資料の良さを認識しながらも黒板への要点の的確な記載を求める指摘もあった。授業の理解度に関わることであるので対応を考えたい。

3 住領域のホームページ制作

3-1 アンケート実施時点のホームページの構成

住生活研究室のホームページは公開用 (<http://www.hijiyama-u.ac.jp/users/house/>) と学内専用 (<http://multi.hijiyama-u.ac.jp/home/sako/>) の2種類を作成した。公開用は県内古民家の所在やスケッチなど主として筆者自身の調査研究に関わるものを掲載しており、ここから学内専用にリンクさせている。本稿で採り上げるのは授業に直接関係する学内専用の方であり、ここには授業資料や学生の課題作品などを掲載するため、学内LAN上のアクセスに限定している。

アンケート実施時(2003年5月)の当該ホームページへアップロードした項目及びその概要(内容及び掲載意図など)を示す(図3)³⁾。

自己紹介(省略)

授業資料

講義・演習など授業時に学生に配布した資料やパワーポイントで作成したスライド資料などを掲載した。学生の復習用としての利用を意図したものであるが、履修登録時に講義概要の記載内容だけでは授業の内容が十分に把握できない面もあることから、閲覧することによって、より具体的な授業内容を把握でき、履修の判断材料に利用することも可能と思われる。

学生作品ギャラリー

演習授業などにおいて学生が提出した課題作品の内、参考となる優秀作品を掲載した。従来は掲示板に掲示したり、授業の中で講評を行っていたが、掲示の場合は閲覧時間が限定され、紛失、汚損などの恐れもある。講評時にもホームページを利用すれば、プロジェクターによる拡大画像が容易に得られ、学生が理解しやすい。また、学生がいつでも参考作品を閲覧することも可能である(図4)。

特別研究・卒業研究

本学科では、2年次に研究室単位のゼミナールとして「特別研究Ⅰ・Ⅱ」(各1単位)を、研究した成果物に対して「卒業研究」(2単位)を開設している。研究室選択の判断材料として毎年12月のガイダンス時に研究室単位の研究内容を記した「研究概要」を学生に配布しているが、冊子の記載内容は紙面上の制約もあって、具体的な研究内容を把握するには限界がある。この点を解消する目的で、先輩たちの研究内容や制作過程の説明などを掲載した。特に作品制作の場合は、視覚的に理解しやすく、当該研究室における卒業研究内容を具体的に示すことができる。

資格試験について

筆者が実施しているCAD資格の支援講習に関する情報を掲載。

研修旅行の記録

当該コースで実施したハウス・インテリア研修の記録写真を掲載。

授業アンケートの結果

本学が実施している授業アンケートの内、筆者担当の授業科目についてのアンケート結果の集計を掲載。本学では学内において期間を限定して公表されているが、学生が何時でも自由に閲覧できるように配慮した。

授業関係リンク

授業において閲覧に利用するホームページや、授業内容に関連するホームページのリンク集を掲載。課題レポート作成時の活用も意図した。

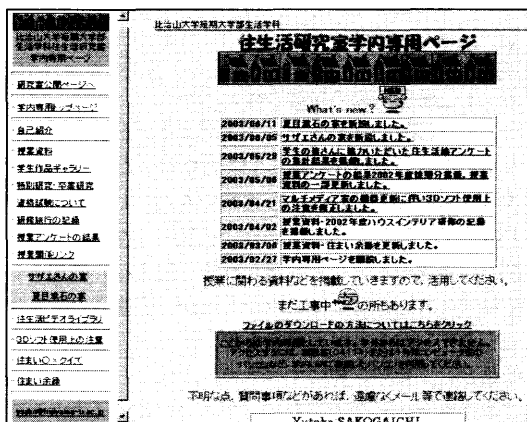


図3 ホームページ（トップページ2003.6.11現在）

住生活ビデオライブラリ

当該研究室において収集中の住居・建築関係のビデオリスト（約270件）を掲載。課題レポート作成時の活用を意図した。

3Dソフト使用上の注意

本学の情報処理演習室・マルチメディア室において使用する3D/CADソフトについて、学生の自主学習時の参考となるよう、エラー時の対処法、ファイルの保存法など使用上の注意事項を掲載した。

住まい〇×クイズ

住領域への関心を深める意図で、住まいに関わるクイズを〇×選択式で作成した。必要に応じて解説付きの解答を掲載した（図5）。

住まい余録

住まいに関する参考資料を掲載。主に筆者が関わった調査研究などから、学生に参考になりそうなものを掲載している。

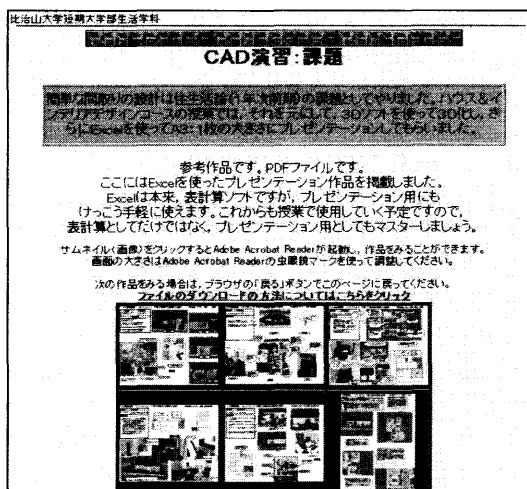


図4 学生作品ギャラリー（CAD演習：課題）

3-2 アンケート結果より

アンケートは5回または6回目の授業を利用して実施した。本学マルチメディア室のパソコンを使用して、一定時間当該ホームページを学生に閲覧させる方法をとった。

(1) ホームページへのアクセス

第1回目の授業（住生活論を学ぶにあたって）時に、住生活研究室のホームページの紹介（公開用・学内専用）とアドレスを記載したプリント資料を配布したが、アンケート実施時までに自主的に閲覧したのは6%（7名）とわずかで、アンケート実施当日に初めて閲覧したのが大部分であった。とはいえ、当該研究室公開ページ（学外からアクセス可能）を自宅や学内LANからアクセスした学生が11%（12名）、この内自宅からアクセスした学生が8名存在したのは、わずかな数値とはいえ、試行錯誤しながら作成してきた筆者にとって望外の喜びであった。

(2) 興味を持ってみたページ

12項目の内上位は、住まい〇×クイズ（20%）、学生作品ギャラリー（18%）、自己紹介（13%）、研修旅行の記録（11%）、授業資料（9%）、特別研究・卒業研究（8%）であった。クイズや自己紹介のように学生にとって取り付きやすいもの、先輩の作品・活動に関わるもの、授業に関わるものが上位を占めた。良い点、改善点を尋ねた自由記述内容もこれらに関わる記述が多く見られた。

(3) 授業への効用

授業に役立つ内容かという質問に対しては、肯定

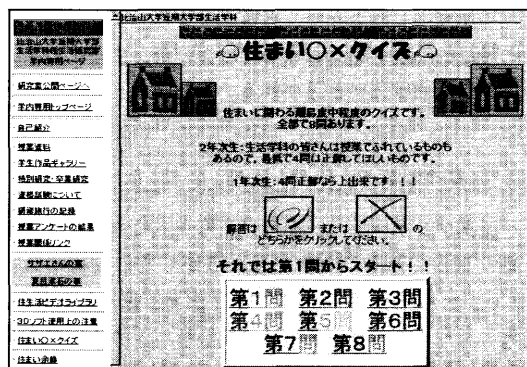


図5 住まい〇×クイズ（トップページ）

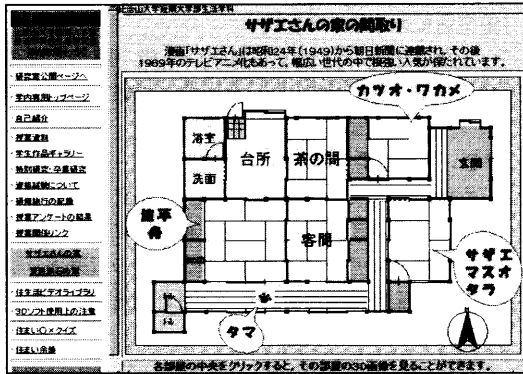


図6 サザエさんの家(サザエさんの家の間取り)

的回答が75パーセントを占め、当初の作成目的を達成できたと考えられる。ところが、今後のホームページの利用意思の程度を問うたところ、肯定的回答が41%に減り、「どちらとも」が43%となり、今後のホームページの内容充実・工夫が求められていることを示している。

学生が掲載を希望するものは、テレビ・映画などアニメの主人公の家も含む世界の様々な家、コースに直結する職業や就職先に関することなどであった。関心のある家を出発点とするのは、住領域への学習の導入手段として重要であるが、安易に迎合して要望事項を提供するのではなく、別途良い方法を慎重に検討する必要がある。

3-3 アンケート実施以降のホームページの更新⁴⁾

アンケート集計結果

今回実施したアンケートの単純集計結果を掲載した。

サザエさんの家・夏目漱石の家

授業後の感想やアンケート結果で関心の高かったサザエさんの家について、より詳細な情報が得られるよう間取りの特徴、各室の3D画像、Video映像を掲載した(図6)。同様に教材に利用した夏目漱石の家についても、間取り、3D画像、小説「吾輩は猫である」から観た住み方の特徴などを掲載した。何れも学生の卒業研究作品である⁵⁾。これらは近現代における住まいを知るうえで重要な住まいである。サザエさんの場合は漫画上の架空の住まいとはいえ、伝統的な木造建築の特徴が随所に見られる家であり、学生も親しみが持てるので格好の授業素材といえよう。さらに工夫を加えて授業教材やレポート課題に利用の予定である。

4 まとめにかえて

4-1 住生活論の授業改善

各質問に対して「強くそう思う」「そう思う」という肯定的な意見が概ね2/3以上であった点は評価できるであろう。教育効果を確認できたかどうかについては、アンケートの結果からは判然としない。質問の設定に問題があったと判断される。例えば、当初から住領域に興味を持っていたかどうか、受講後のそれはどう変化したかという項目をアンケートに加え、数値結果として検証可能にすべきであった。しかし、授業ごとに寄せられた感想やアンケートの自由記述から得られた学生の意見などは、今後の授業改善に繋げることができ、収穫の一つといえよう。苦情、異議など否定的な意見も寄せられているので、全体的に学生の率直な回答が得られたように思う。最終授業の際に実施される本学の授業アンケートの機会を待つのではなく、学生、教員共に記憶の新しい時期にこのようなアンケートを実施する必要性を痛感した。

4-2 住領域のホームページ

アンケート結果を見る限り、当初の作成目的を一応達成できたと判断できる。しかしながら、今回は半ば強制的に閲覧させたわけであって、本来は学生たちが自主的に頻繁にアクセスしてくれるような魅力的な内容を工夫することが大前提であろう。ホームページの利用度を高める工夫が求められている。学生が関心を持ちそうな事項の時機にかなった掲載もその一つである。また、ホームページを利用しなければ授業課題が仕上げられないような工夫も場合によって必要となろう。例えば、ホームページ上に必要な資料を用意し、それを閲覧することによってレポートをまとめさせることができる。同時に課題作成時に参照できるリンク集の充実も必要である。

当初意図したように、当該ホームページは通常授業の補足的役割を超えるものではないが、まだまだ工夫可能な範囲は広いと思われる。

5 おわりに

授業アンケートは、記憶の新鮮な内に自身の授業を振り返ってみることができた点が非常に有益であった。ホームページについては、学生を対象としながら、何をどのように掲載すれば学生に有用であるのかも不明な状態で制作してきた。アンケートを見る限り作業が徒労に終わることはなかったようである。加えて学

生の興味関心の一端も知ることができた。今後のホームページの充実に生かしていきたい。

末尾になったが、ホームページのサーバーへの転送にあたっては、本学情報センターの教職員の御教示、御協力を得た。また、アンケートには生活学科1年次生の御協力を得た。ここに記して深く感謝申し上げます。

[注]

- 1) 岩村穂波「染色実習へのマルチメディア活用の教育効果について」比治山大学短期大学部紀要第38号 pp.29-39 2003

- 2) 本学で実施している高校生対象の公開授業（60分間または90分間）のために準備したものを、2回分の授業内容（180分）に改訂したものである。
- 3) 学内専用は2003年2月27日開設。アンケート実施時は、掲載項目数12、ページ数115、容量約38MBであった。
- 4) 2003年6月30日現在の更新内容。
- 5) 学生作品を一部修正して掲載した。サザエさんの家（2001年度卒業研究：智谷昭美・児玉千秋）、夏目漱石の家（2002年度卒業研究：片岡絵美・木澤美希）。

（受理 平成15年10月31日）

資料1 授業の感想(第2回)

()は筆者の補筆, 数字は類似内容の数を示す

●欧米の住まいの実例

- ・変わった家や広い家ばかりで見ていた楽しかった。ガラス張りの家はさすがに住めないが、森の木々が壁紙のように素敵だなと思った。
- ・大きい家をたくさん見た、一度は住んでみたい。3
- ・色んな家が見られて楽しかった。11
- ・家って色々あるんですね。
- ・色々な家をもっと見てみたい。個室なのに扉がないのはびっくりした。
- ・あり得ないと感じられる家もあっておもしろかった。
- ・ガラス張りの家が印象的。
- ・外から丸見えの家には住みたくない。4
- ・私には住みたい家ばかりであった。
- ・将来個人的な家に住めれば幸せだろうと思った。
- ・みんな金持ちでびっくりです。すごすぎて私には落ち着かないかも知れない。
- ・アメリカの家は大きすぎて日本とは違う。
- ・アメリカの家は大きくてうらやましい。2
- ・様々な国の様々な図面が見られた。
- ・こんなに広い家があることにびっくりした。広い家の作りがわかった。自分でも設計してみたい。
- ・(チャールズ) イームズは好きなので楽しかった。
- ・豪邸が見られて目の保養になった。
- ・おもしろい授業だった、スライドを使うのはとても楽しい。
- ・日本とは作りがまったく違う。
- ・デザイナーの家はどこか雰囲気があってすごいと思った。
- ・(古い建物でも)古さがなくてすごい。
- ・(古い建物でも)デザインが見劣りしていないところがすばらしい。

●畳について

- ・京間と狭間の違いを初めて知った。
- ・畳の仕組みがわかった。
- ・不祝儀敷きというのがあることを知ってびっくりした。
- ・畳の敷き方が決まっているのにびっくりした。
- ・畳にも色々な敷き方がある。大きさも年代や地域によって違う。
- ・自宅では正方形の畳を使っているが、特別な呼び名はあるのか。

●その他

- ・住まいのことがよくわかった。もっと知りたい。
- ・スクリーンが見にくかった。

資料2 授業の感想(第3回)

()は筆者の補筆

●サザエさんの家関係

- ・サザエさんの家が意外に大きくてびっくりした。縁側のある家に住みたい。
- ・サザエさんの家はオープンキャンパスで見たが、いつ見ても面白い。あんなに広いとは、特に庭!
- ・サザエさんはよく見ている。実際に図面で見ると面白かった。広い家だ。次はちびまる子ちゃん、のび太君、クレヨンしんちゃんの家とかも見てみたい。
- ・サザエさんの家が面白かった。もっと部屋の中を見てみたかった。昔の家は畳があるから落ち着いた。
- ・サザエさんの家がみれたのがよかった。サザエさんの家の中が見たかった。
- ・サザエさんの家の風呂は、台所の隣りにあるのに驚いた。
- ・サザエさんの家は楽しかった。私の家はリビングは公空間、2階が私空間です。和室はあまり使わず、物置空間みたいです。

●公空間と私空間, 住まいの欧米化など

- ・公空間と私空間の、今と昔の違いが見られてよかった。
 - ・昔の家と今の家の間取りを見て、少し変わってきている。洋風らしくなってきたのを見て取れた。
 - ・昔の家と現代の家の違いがわかった。昔の人は主人にしかな個室がなかったということを知って、今では考えられないことだと思った。
 - ・公空間と私空間の意味がわかった。昔は個人の部屋が限られた人しかなかったということにびっくり。昔と今は、造りも違うが広さも違うということにもびっくりした。
 - ・住まいを見るだけで、一家の間関係も見えた気がした。(昔の間取りをみて)近年は一家がある程度平等になっているのだと改めて感じた。
 - ・同じ日本でもたくさん家の建て方があるなあと思った。今と昔では建て方も部屋の使い方も変わってきたと思った。いつかお金持ちになったら自分で家をデザインしてみたい。
 - ・家の欧米化はうれしいが、私空間がはっきりしすぎると、親と子供が話をしなくなったりという問題も出てくるから、それは悲しいと思う。
 - ・昔の公空間の多い家から現代の私空間の多い家へ。プライバシーがしっかりしてきている分、家族同士のコミュニケーションが取りにくくなっているのも事実。積極的なコミュニケーションが必要。
- その他
- ・いろいろとかがすてき。おかまとか(で炊くと)おいしそうでいいが、毎日だったら絶対たいがい。
 - ・家の中身がわかった気がした。
 - ・日本は湿度が高いから、靴は脱ぐと思う。
 - ・色んな家があるから面白い。
 - ・住みたい。
 - ・昔ながらの家は雰囲気がよい。

資料3 アンケート内容及び集計結果

- ・対象:生活学科1年次「住生活論」履修登録者139名
- ・実施時期:2003年5月8日～26日の各クラス該当授業時間
- ・回収状況(下表)

	履修登録者数	授業アンケート			ホームページアンケート		
		配布数	回収数	回収率	配布数	回収数	回収率
全クラス	139	124	112	90%	127	109	86%

- ・データの太字は最多回答数を示す
- ・自由記述欄の回答については、類似内容をまとめて記載したものがあ。その場合は回答数を記入した。また、内容がわかりにくいものは加筆([])で表記した。

住生活論授業・住生活研究室ホームページについてのアンケート

2003.05

先週までの「住生活論」の授業(1～4回)と、授業で紹介した「住生活研究室のホームページ」についての質問です。今後の資料としますので、協力をお願いします。

先週までの1～4回の授業について質問します。

●授業1回目

○住生活論で何を学ぶのかについて、パワーポイントを使ったスライドを利用して授業を進めました。このことについて質問します(該当番号を一つ○、以下同じ)。

・パワーポイントを利用したスライドはわかりやすかったですか。

5 強くそう思う 4 そう思う 3 どちらとも 2 あまり思わない 1 まったく思わない

	5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも	2 あまり思わない	1 まったく思わない	無回答	計
全クラス	14 13%	66 59%	25 22%	6 5%	0 0%	1 1%	112 100%

・授業内容は理解できましたか。

5 強くそう思う 4 そう思う 3 どちらとも 2 あまり思わない 1 まったく思わない

	5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも	2 あまり思わない	1 まったく思わない	無回答	計
全クラス	6 5%	67 60%	27 24%	10 9%	1 1%	1 1%	112 100%

・説明はわかりやすかったですか。

5 強くそう思う 4 そう思う 3 どちらとも 2 あまり思わない 1 まったく思わない

	5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも	2 あまり思わない	1 まったく思わない	無回答	計
全クラス	14 13%	62 55%	30 27%	4 4%	1 1%	1 1%	112 100%

●授業2回目

○1回目で皆さんに記入してもらった「量」について、その大きさや敷き方について補足し、その後アメリカの住宅の実例をスライドを利用して数件(「ガラスの家」ほか4件)を見てもらいました。このことについて質問します。

・「量」についての知識は深まりましたか。

5 強くそう思う 4 そう思う 3 どちらとも 2 あまり思わない 1 まったく思わない

	5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも	2 あまり思わない	1 まったく思わない	無回答	計
全クラス	18 16%	61 54%	29 26%	4 4%	0 0%	0 0%	112 100%

・住宅の実例のスライドをみて、住まいに対するあなたの考え方は変わりましたか。

5 強くそう思う 4 そう思う 3 どちらとも 2 あまり思わない 1 まったく思わない

	5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも	2 あまり思わない	1 まったく思わない	無回答	計
全クラス	14 13%	32 29%	61 54%	4 4%	0 0%	1 1%	112 100%

・5と4のどちらかを答えた方に質問です。どんな点が変わりましたか。

<ul style="list-style-type: none"> ・ガラスの家が印象的だった ・ガラスの家を初めて見て驚いたため ・ガラス張りの家でも住めるのだと思った ・色んなデザインの家があつておもしろい、興味がわいてよい ・珍しい家や建物があると意識してみるようになった ・変わった家がたくさんあつたので、自分もそんな家に住みたいと思った ・住みやすい家とデザインの凝つた家は違うということ ・住み心地を重視するだけでなく、デザイン重視の家もよいと思った ・色々な住宅がある ・外国には変わった家があること ・ひとつの形にこだわらない ・住宅は型にはまったデザインではなくてよいのだと思うようになったこと ・色々な家を見たときに、これでも家?という家があることがわかつたから ・今までより興味がもてるようになった。色んな変わった家を見るのは楽しかつた ・家に対する価値観が変わつた ・インテリアにこだわつた家を将来建てたいと思った ・自分の部屋のことがもっと知りたくなつた ・模様替えをしたいと思った ・家を買うときには個性がある家を買いたいと思うようになった ・今まで家について深く勉強したことがなかつたから 	<p>.....(以下は設問とは異なると思われる記述).....</p> <p>(授業2回目:量に関する記述)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・量の敷き方などがよくわかつた ・自分の部屋が何層敷きか調べてみようと思つた ・田の字形など色々な量の敷き方がわかつた点 ・色々な種類があつて大変だと思つた ・量の大きさには様々なものがあり、マンションなどを借りるときは損得に気を付けたい ・量の敷き方や大きさがわかつた ・どういふ敷き方かわかつた <p>(授業3回目に関する記述)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昔の住まいを知ることができた ・昔と今ではすまいは大きく変わつて来た ・プライベートな部屋よりも皆が集まるリビングの方が大事である <p>(授業4回目に関する記述)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の家の良さを知つた ・住まいを比較して、日本に住んでいるだけあつて、やはり日本式の方がしつぷりするなあと思ひ直した ・アメリカと日本の違いがわかつた ・玄関で靴を脱ぐ日本の住み方を前以上によいと思つた
--	---

・2と1のどちらかを答えた方に質問です。あまり変わらなかつたのはなぜですか。

・聞きづらかつたから	・はじめから考えを持っていなかつたから
------------	---------------------

●授業3回目・4回目

○「住まいについて考える」というテーマで、2週にわたってパワーポイントのスライドを中心に説明しながら、授業を進めました。このことについて質問します。

・パワーポイントを利用したスライドはわかりやすかったですか。

5 強く思う 4 そう思う 3 どちらとも 2 あまり思わない 1 まったく思わない

	5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも	2 あまり思わない	1 まったく思わない	無回答	計
全クラス	17 15%	64 57%	27 24%	2 2%	0 0%	2 2%	112 100%

・授業内容は理解できましたか。

5 強く思う 4 そう思う 3 どちらとも 2 あまり思わない 1 まったく思わない

	5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも	2 あまり思わない	1 まったく思わない	無回答	計
全クラス	9 8%	60 54%	36 32%	5 4%	0 0%	2 2%	112 100%

・説明はわかりやすかったですか。

5 強く思う 4 そう思う 3 どちらとも 2 あまり思わない 1 まったく思わない

	5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも	2 あまり思わない	1 まったく思わない	無回答	計
全クラス	9 8%	65 58%	32 29%	2 2%	0 0%	4 4%	112 100%

・配付した資料はわかりやすかったですか。

5 強く思う 4 そう思う 3 どちらとも 2 あまり思わない 1 まったく思わない

	5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも	2 あまり思わない	1 まったく思わない	無回答	計
全クラス	7 6%	57 51%	41 37%	4 4%	1 1%	2 2%	112 100%

・4回目の授業のはじめの時間に、皆さんの授業の感想を見ながら3回目の授業内容を復習してみました。このようなやり方はよかったですか。

5 強く思う 4 そう思う 3 どちらとも 2 あまり思わない 1 まったく思わない

	5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも	2 あまり思わない	1 まったく思わない	無回答	計
全クラス	26 23%	55 49%	24 21%	0 0%	0 0%	7 6%	112 100%

●4回の授業全体を通して気がついたことなどがあれば、何でもいいですから記入してください。

<ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイントを使うのがよい ・スライドを使った授業はわかりやすく楽しい ・スライドでの説明がわかりやすかった ・スライドは楽しい ・説明はわかりやすい ・サザエさんの家などが出るのでわかりやすい ・日本以外の変わった家が見られて勉強になった。サザエさんの家など普段見る機会のないものが見られ楽しかった ・まだ詳しくはわからないが、何となくイメージできた ・色々な住居を見て楽しかった ・家を作るときは色々なことを考えないといけないと思った ・外国の家はデザインが様々でおもしろい、でも大きすぎて落ち着かない感じがした。やはり量はいい ・サザエさんなどのアニメを使って勉強してみたいと思った ・欧米のような大胆な家に住んでみたい ・外国は土足で家も全体的に広くてよいと思った ・日本よりアメリカなどの家の方がインテリアにもこだわりがあり、参考にしたいと思った 	<ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイントを使うよりも黒板に要点を書いてもらえる方がうれしいですが、写真など資料が多く見られるところはよい ・スライドの文字が小さくて見にくかった ・プリントに書くことなどがわかりづらい ・周りの人が話ばかりしてうるさかった ・私語が多い人がいて聞きづらかった ・授業中無駄話をしすぎたからこれからまじめにしたい ・テストはあるのか ・教室が寒かった ……(以下は5, 6回目の授業に対する記述と思われるもの)…… ・おもしろい、自分で作れたかった ・パソコンを使った授業はおもしろい ・コンピュータで色々なことができたのでおもしろかった ・3Dは手書きよりよい ・3Dは最高 ・パソコンで理想の家を作るなんて ・3Dが少し難しかった ・おしやれにそして使いやすいくことをポイントに設計するのは難しい
--	---

住生活研究室の学内専用ホームページについて質問します。

●まず、住生活研究室の学内専用ホームページを見てください。しばらく見た後に以下の質問に答えてください。

学内専用ホームページを見るには…			
1.	比治山大学のトップページを出す。		
2.	「アクセス」をクリックして、アクセスページを出す。		
3.	「教職員」をクリックして、教員構成ページを出す。		
4.	「生活学科」をクリックして、生活学科の教職員一覧ページを出す。		
5.	「迫垣内裕」をクリックして、住生活研究室公開ページを出す。		
6.	左下の「学内専用ページ」をクリック。		

○このホームページを見たのは(該当する口をチェック、以下同じ)

今日が初めて 授業で紹介された後に学内で見たことがある

	今日が初めて	授業で紹介された後に学内で見たことがある	無回答	計
全クラス	96 88%	7 6%	6 6%	109 100%

○興味を持ってみたのはどのページですか(該当番号を○、複数回答OKです)。

- 1 自己紹介 4 特別研究・卒業研究 7 授業アンケートの結果 10 3Dソフト使用上の注意
 2 授業資料 5 資格試験について 8 授業関係リンク 11 住まい○×クイズ
 3 学生作品ギャラリー 6 研修旅行の記録 9 住生活ビデオライブラリ 12 住まい余録

	1 自己紹介	2 授業資料	3 学生作品ギャラリー	4 特別研究・作品研究	5 資格試験について	6 研修旅行の記録										
全クラス	27	13%	20	9%	38	18%	17	8%	9	4%	23	11%				
	7 授業アンケートの結果	8 授業関係リンク	9 住生活ビデオライブラリ	10 3Dソフト使用上の注意	11 住まい○×クイズ	12 住まい余録	無回答	計								
全クラス	6	3%	10	5%	3	1%	4	2%	42	20%	7	3%	9	4%	215	100%

○このホームページのどんな点がよいと思えましたか。

<ul style="list-style-type: none"> 「自己紹介」がよい 先生のがよくわかっておもしろい 2 住まいのことや先生のことがわかる点 授業内容などがわかりやすかった 授業科目について詳しくわかること 授業の復習ができる点 ハウスインテリアデザインコースの授業内容がよくわかる ハウスインテリアデザインコースのことが詳しくわかる、他コースも同様のものができればよい 学生作品が紹介されている点 9 [学生作品]色々な家があり色々なアイデアがあって驚いた、自分でも作ってみたいと思う 実際に学生が作ったものだからすごく参考になる 有名な家がみられておもしろい 資格のことが掲載してある点 自分の調べたいものがあったのでよかつた[資格のことと思われる] 色々な場所に行くのだなあと思った[ハウスインテリア研修] 「住まい○×クイズ」が楽しい 4 「住まい○×クイズ」は遊びながら学べる点 6 ゲーム感覚で楽しめる点 「住まい余録」が面白かつた 	<ul style="list-style-type: none"> みやすい、わかりやすい 15 写真(図)がたくさんあるのでおもしろい、わかりやすい、好感もてる 11 見やすいカラーや文字 9 詳しく掲載してある点 4 動く顔文字がかわいい 3 楽しく学べる 2 楽そう 2 動画がある点 見て少しやる気になった 資料などがあってわかりやすい 住宅について色々な視点で紹介している点 ジャンルが色々選べる 自分の知らないことが知られる 色々なことが掲載してある 参考になる あまり堅苦しくない点 きれい すべてがよい おもしろい
---	---

○このホームページのどんな点を改善したらよいと思えますか。

<ul style="list-style-type: none"> ホームページのある場所がわかりにくい 2 このままでもいいが、絵などをもっと付けたい このままよい もっと多く掲載した方がよい もっと詳しくしたらい 音声も聞ければよい ちょっと見にくい 文字を大きく、漢字も多い もう少しわかりやすく 	<ul style="list-style-type: none"> 「住まい○×クイズ」について、正解しても最後に何も無いのはさびしい 「住まい○×クイズ」について、同類の問題のもでもっと増やしたりした方がよい 「住まい○×クイズ」について、正解率などがわかるとよい もう少し簡単に気軽に見られるようなホームページにしてほしい もっと色々な家を見てほしい 写真をもっと増やしてほしい 縮小表示の写真をクリックして大きく見られるようにしたらい
---	--

○授業に役立つような内容と思えますか。

- 5 強くそう思う 4 そう思う 3 どちらとも 2 あまり思わない 1 まったく思わない

	5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも	2 あまり思わない	1 まったく思わない	無回答	計							
全クラス	15	14%	67	61%	20	18%	2	2%	0	0%	5	5%	109	100%

○今後、このホームページを見ようと思えますか。

- 5 強くそう思う 4 そう思う 3 どちらとも 2 あまり思わない 1 まったく思わない

	5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも	2 あまり思わない	1 まったく思わない	無回答	計							
全クラス	10	9%	35	32%	47	43%	9	8%	1	1%	7	6%	109	100%

○今後、掲載したらよいと思うものがあつたら記入してください。

<ul style="list-style-type: none"> もっと色々な家を見せてほしい 2 もっとテレビでやっている有名な家が見たい(スタジオジブリなど) 「どりのトロ」のさつきの家が見たい アニメに出る色々な家(ドラえもんなど) 世界の色々な家やかわいい家具や変わった家具 色々なキャラクターの家 おもしろい家やかわいい家具など 	<ul style="list-style-type: none"> ハウスインテリアデザインコースの就職先 ハウスインテリアデザインコースを選んだ卒業生の就職先や消息など どのような職業に就けるか サークルなどが掲載されればよい 写真
--	---

○その他、気がついた点があつたら何でも記入してください。

<ul style="list-style-type: none"> 楽しかつた 少し難しかつた 	<ul style="list-style-type: none"> 写真と説明をわかりやすく
--	--

●ここからは、住生活研究室公開ページについての質問です(公開ページと学内専用ページを間違えないようにしてください)。

○今日までに、公開ページを自宅や学内のパソコンなどで見たことがありますか。

- ある ない

	ある	ない	無回答	計				
全クラス	12	11%	88	81%	9	8%	109	100%

・「ある」と答えた人に質問です。見たのはどこですか？

- 学内 自宅など

	学内	自宅など	無回答	計			
全クラス	6	43%	8	57%	0%	14	100%

Abstract

An approach to improving classes in the area of Housing

Yutaka SAKOGAICHI *

As part of measures to improve classes in the area of Housing, we reformed the contents of Housing and Living Design class, which is a compulsory subject, and set up a website where I posted various kinds of information concerning the class.

And then I conducted a questionnaire survey among students attending the class to measure the effectiveness of the class improvement.

(Received October 31, 2003)